

第16回埼玉県競輪事業検討委員会 概要

- 日 時 令和8年7月9日（木）15：30～17：00
- 場 所 大宮ソニックシティビル 704号室
- 出席者 岩崎康夫委員（委員長）、小川千恵子委員（副委員長（オンライン出席））、
岩佐亮平委員、栗原千亜希委員、渡邊徳高委員、長岡新也委員
※岡村春香委員は欠席

■ 議事概要

- 1 会議の公開について
非公開とすべき情報は含まれないため、原則どおり公開とする。
- 2 議事
議題（1）埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について
議題（2）今後の大宮双輪場の再整備について
事務局より資料を用いて説明

【議事概要】

（議題（1）埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について事務局より説明）

○ 栗原委員

インターネット投票の売上が増えており、今後もギャンブル依存症への対策を行っていかないといけないと思います。他の競輪場でのギャンブル依存症対策で具体的に把握しているものはありますか。

○ 事務局

東京都にある立川競輪場や京王閣競輪場では「（公社）ギャンブル依存症問題を考える会」と連携し、本場開催のYouTube 配信において、ギャンブル依存症の啓発を行っています。具体的には、過去にギャンブル依存症に苦しんだアナウンサーの方に出演していただき、レース間の時間を使って、「説教型」ではなく「共感型」のアプローチにより「もしかして自分もそうかも？」と視聴者に気づきを与えるという内容になっています。

本県でも同様の取組の実施に向けて現在調整しているところです。

○ 岩崎委員長

チャネル別売上の推移の中で、電話・インターネット投票の売上が非常に増えていますが、今までの年齢層から変化はありますか。実態を捉えた年齢層のデータなどがあれば教えてください。また、どのような時間帯に電話・インターネット投票の利用が多いのかも併せて教えてください。

○ 事務局

年齢層については、大手4社から情報をいただいておりますが、各社の登録者が一番多い年齢

層は明確に分かれていました。おそらく、各社のサービスの創意工夫によりターゲット層が分かれ、結果として一番多い年齢層が分散したのではないかと思います。

時間帯について、現在ミッドナイト開催での売上が非常に好調となっています。車券売上のほとんどが電話・インターネット投票になっており、仕事が終わった後に投票をする方が増えていると考えています。また、ランチタイムも売上が増加する傾向にあるほか、出勤前の時間帯に購入される方も見受けられます。

○ 岩崎委員長

広い年齢層で利用が多いということで、ギャンブル依存症対策がより大事になってくると思います。

○ 事務局

以前「オンラインカジノ」が問題になった際、全国的にギャンブル依存症対策の強化が議論されました。これを受け、競輪についても今年の2月にギャンブル依存症対策の規制が強化されたところです。具体的には、各民間ポータルサイトでは車券を購入した際などにポイントを一定の率で付与するサービスを展開していましたが、ギャンブル依存症を助長する可能性があるとして率の上限が設けられました。このほか、競輪をやったことがない方を紹介して、実際にその友達がサイトに登録するとポイントが付与される仕組みの廃止など、各種の規制が強化されたところです。

○ 岩佐委員

現役世代のお客様の割合が増えてきている印象があります。出勤前や昼休み、ミッドナイトの時間帯の売上が伸びているのも、そうした傾向の一因ではないかと思います。また、今年の2月からギャンブル等依存症対策を強化していく方針が業界内で共有され、インターネット投票サイト内の告知や配信映像等を通じてギャンブル等依存症対策に関する周知を行うなど業界全体で取り組んでいます。

○ 渡邊委員

競輪全体の売上が伸びていますが、それは客単価が変わっておらず購入者が増えて全体の売上が伸びているのか、客単価が伸びていて全体の売上が伸びているのかどちらなのでしょう。

○ 事務局

実際に競輪場に来て車券を購入される方のデータは把握しておりますが、それによると本場の客単価は若干下がっています。インターネット投票も同様の状況だとすると、車券を買う方が増えているのではないかと考えます。

○ 岩佐委員

補足としまして、各民間ポータルサイトにヒアリングしたところによりますと、客単価は少し下がっているものの車券を購入する方が増えているという話を伺っています。

○ 岩崎委員長

インターネット投票の取扱手数料について教えてください。

○ 事務局

各民間ポータルサイトに支払う委託料率は全競輪場で統一されており、全国団体が各民間ポータルサイトと交渉を行うことになっています。令和4年度から毎年継続的に交渉を行っており、料率が一番低いサイトを除いて少しずつ委託料率が下がってきています。また、昨年度から2者が新規参入しましたが、既存の4者と比べると委託料率が若干低めとなっています。

○ 岩崎委員長

大宮双輪場を活用したイベントについて、最近の開催状況はいかがでしょう。

○ 事務局

大宮双輪場も西武園競輪場も、競輪開催時に限らず、競輪を開催していないときにも周辺の方々に競輪場を楽しんでいただきたいと思いますと思っており、今年度も積極的にイベントを行う予定です。

直近ですと、大宮双輪場では7月25日に小さなお子様をターゲットにした「水かけまつり」というイベントを開催します。

また、西武園競輪場では8月8日に「納涼祭」という夏祭りのイベントを行います。この日は、隣接する西武園ゆうえんちで打ち上げ花火が行われる予定で、競輪場からも見ることができると、ゆうえんちとも連携しながら競輪ファン以外の地域の方にも競輪場を活用いただければと考えています。

(議題(2) 今後の大宮双輪場の再整備について事務局より説明)

○ 岩崎委員長

多目的競技場として想定される「にぎわい面」として何か御意見はありますか。

○ 栗原委員

大宮公園周辺を利用するにあたって、飲食店やカフェが少なく不便を感じるといった話を聞きます。そのため、そういった飲食店等が充実してほしいと思います。

○ 長岡委員

にぎわいの「スポーツ」において、試合がある日もない日も楽しめる公園ということですので、多くの方が楽しめるよう比較的競技人口の多いスポーツ施設を整備することがよいのではないかと考えます。

また、大宮第二公園の整備エリアは敷地に限りがあり、バンクサイズによって多目的施設等の整備エリアも変わってくると思います。バンクサイズがどのくらいの規模なのか分かると整備エリアの広さも決まってくると思います。

○ 岩崎委員長

事務局に確認しますが、今回の委員会で議論するのは「競輪開催に必要な規模」であり、「バンクサイズの検討」は今後ということによいでしょうか。

○ 事務局

バンクサイズは別途検討しています。長岡委員のおっしゃるとおり、大宮第二公園の敷地には限りがあり、どのくらいのバンクが入るのか、またバンクの周りに多目的スペースを設けると、そこでもサイズに影響が出るため、物理的に敷地に入るのかを中心に今後検討していきます。

また、競技人口については、現在は少なくともこれから増えていく可能性がある競技もあるのかなと思います。例えばオリンピックではスケートボードで若い方が多く活躍した後、スケートボードの競技人口が増えているという報道もありました。そのため、そういった点も踏まえて検討していければと思います。

○ 岩崎委員長

にぎわいの「スポーツ」において、大宮双輪場は自転車競技の場であるため、自転車に着目したものを検討してほしいと思います。また、埼玉県中央に位置する公園であるため、「大宮公園と言ったらこのスポーツ」と言われるような施設の検討も必要だと思います。

○ 長岡委員

競輪場は多様なバンクサイズがある中、オリンピックでの自転車競技に対応したバンクサイズは250mと聞いています。そうすると、400mバンクや333mバンクにした場合、自転車競技を行う際はどのようにバンクを使うことになるのでしょうか。

○ 事務局

現在の大宮双輪場は500mバンクですが、自転車競技を行っている学生が練習で使用しています。練習にあたっては必ずしも250mバンクが必要ではないと聞いており、練習自体はどのサイズのバンクでも問題ないと考えています。

○ 長岡委員

大宮双輪場は練習では使えるが、自転車競技の大会では使えないということですか。

○ 事務局

おっしゃるとおりです。250mのバンクサイズのほか、大会で使用される競技用バンクは木製であり、大宮双輪場とは仕様が異なります。

○ 岩佐委員

自転車競技では、木製の250mバンクが基本になるため、屋外での整備は難しいと思います。一方で、学生は全国でも400mバンクで練習しているケースが多く、練習で使用する分には大きな支障はないかなと思います。

○ 渡邊委員

にぎわいについて、自転車競技としてのシンボルのようなもの設け、自転車競技に特化した方が興味・関心を持ってもらえるのではないかと思います。

自転車をやっていたら一度は訪れてみたい、競輪をやっていない時も埼玉に来たら訪れてみたいと考えてもらうために、自転車競技に特化した何かを整備する方法もあるのかなと考えます。

○ 事務局

特化したものがある方が特定の層にはより深く興味を持ってもらえるという考えもあると思います。今後の参考にさせていただきます。

○ 岩佐委員

他場の事例となりますが、近年はスタンドを再整備する際にコンパクト化を図る事例が増えています。コンパクト化により新たなスペースが生まれ、そのスペースを活用した特色ある施設整備が行われています。

例えば、名古屋競輪場ではアジア大会を見据えたBMXコースを整備し、防府競輪場では子供の遊び場としてパンプトラックを整備しています。

競技人口が多くない競技であっても、人を呼び込むコンテンツとなり得るため、大宮双輪場でもこうした取組を方向性の一つとして検討していくのも有効ではないかと思います。

また、大宮双輪場は全国的に見ても大きな競輪場ですが、最近、再整備した熊本競輪場は収容人数4,000人としています。GI開催時には2万7千人、最終日の来場者は1日で1万1千人もの来場がありましたが、仮設観客席で対応していました。このような事例を踏まえると、メインスタンドについては大規模なものを整備するのではなく、維持管理の観点も踏まえた適切な規模とすることが重要であると考えます。

(資料「その他」について事務局より説明)

○ 岩崎委員長

事務局から次期包括委託について説明がありました。現在、公募が開始されておりまして、8月中旬から下旬に、本検討委員会において受託候補事業者のプレゼンテーション審査を行っていただきたいということでした。ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問ありますか。

御意見・御質問なしということで、事務局から何かあればお願いします。

○ 事務局

本日の委員会の概要については、前回までと同様に公開させていただきますので、御了承願います。

また、次回「第17回埼玉県競輪事業検討委員会」の議題につきましては「次期包括委託の受託候補事業者のプレゼンテーション審査」のみを予定しています。過去にも当委員会にて包括委託の受託候補事業者のプレゼンテーション審査を行っていただきましたが、その際は非公開とした経緯があります。この点も踏まえ、次回の委員会の公開、非公開について委員の皆様

から御意見をいただければと思います。

○ 岩崎委員長

次回の委員会の議題は、受託候補事業者のプレゼンテーション審査とのことですので、埼玉県情報公開条例第10条第2号（法人等に関する情報）及び第4号（審議、検討等情報）の非公開事由に該当するため、非公開とすることよろしいでしょうか。

異議なしということで、次回の委員会は非公開といたします。

○ 事務局

以上をもちまして、「第16回埼玉県競輪事業検討委員会」を終了いたします。

以上